

鹿児島県立博物館研究報告

第5号 (昭和61年)

BULLETIN OF THE KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

No. 5 (1986)

福田晴夫・木尾薩己：鹿児島県のアメリカザリガニについて……………	1
福田晴夫・二町一成・守山泰司：日本産ナガサキアゲハの有尾型雌について…	9
川越良昭：鹿児島県本土におけるウバメガンの分布……………	15
高木 繁：鹿児島県産葉化石について……………	23
弓削政憲：博物館における教育普及活動の事例報告（第1報）……………	41
永正重俊：全自動プラネタリウム用ソフトウェアの作製について（第2報）…	49
恒吉正巳：魚類，両生類，爬虫類，その他の剥製法について……………	61

Haruo Fukuda & Satsumi Konoo : The spreading and the settlement of <i>Procambarus clarki</i> (Girard) in Kagoshima Prefecture ……	1
Haruo Fukuda, Kazunari Nicho and Taiji Moriyama : Notes on the tailed females of the Great Mormon <i>Papilio memnon</i> L. (Papilionidae, Lepidoptera) in Japan (II) ……	9
Yoshiaki Kawagoe : Distribution of <i>Quercus Phillyraeoides</i> A. Gray in Kagoshima Prefecture proper ……	15
Shigeru Takaki : Plant Fossils from Kagoshima Prefecture ……	23
Seiken Yuge : Some report on the educational uses of museum (1) ……	41
Shigetoshi Nagamasa : The software for full automatic Planetarium (2) ……	49
Masami Tsuneyoshi : Methods in the art of taxidermy, for preserving all kinds of fishes, amphibia, reptilia and etceteras ……	61

鹿児島県立博物館

KAGOSHIMA PREFECTURAL MUSEUM

KAGOSHIMA, JAPAN

はじめに

県立博物館は、生涯教育の観点から専門的な役割を果たす社会教育機関として、資料を幅広く収集し、保管し、展示して県民の文化的欲求の高まりに応えなければならない使命を担っています。

博物館における調査研究は、これらの使命を果たすための基礎をなすものであって、これを伴わない資料の収集や展示などの博物館活動は考えられないところであります。

特に、自然史部門における研究分野は分類学的研究や地域自然誌的研究をはじめ、生活史や生態学的研究、生物地理学的研究、進化学的研究、自然保護や文化財保護に関する研究など多岐にわたっておりますが、そのいずれも博物館活動の基礎研究として必要であります。

また、これに加えて博物館独自の問題である資料の保存科学的研究とか、資料の収集、展示、教育に関しての博物館学的研究も不可欠であります。

本誌には、鹿児島島の自然がどのような種類の地質、植物、動物で構成されているかなどを調べる地域自然誌的研究4編と博物館学的研究3編を掲載しております。諸賢のご批判、ご指導をお願いします。

昭和61年3月

鹿児島県立博物館長

北原昭男

鹿兒島県立博物館研究報告
第 5 号

昭和61年 3月25日印刷

昭和61年 3月31日発行

編集・発行 鹿兒島県立博物館

〒892 鹿兒島市城山町 1-1

TEL (0992) 23-6050

印刷所 (有)朝日印刷

〒890 鹿兒島市上荒田町854-1

TEL (0992) 51-2191

鹿兒島博研・Bull. Kagoshima Mus.